

令和2年6月19日
上下水道局

下水中の新型コロナウイルス調査への協力について

1 概要

(公社)日本水環境学会では、下水試料(流入水や汚泥など)を分析することで、感染拡大の予兆や収束見通しなどを事前に察知する研究を開始した。

今回、同学会から本市へ下水試料の提供依頼があり、協力することとした。

2 調査内容

浄化センターの流入水及び汚泥を採取し、提供する。

- (1) 日 程 : 6月24日、7月1日、8日、15日の計4回採取
- (2) 場 所 : 日明浄化センター(小倉北区西港町96番地の3)
- (3) 試 料 : 浄化センター流入水及び汚泥(各1リットル)

3 今後の予定

- ・ 試料は、同学会に提供後、冷凍保存される。
- ・ 同学会では、9月頃を目途に分析方法を確立させ、採取した試料を分析する。
- ・ 同学会は、最終的に感染者の流行や収束傾向の把握につながる成果を目指している。

4 調査の効果

今回の研究により、流行状況の見通しなどが事前に察知できるようになれば、早期の予防対策が可能になる。

<取材について>

6月24日(水)、日明浄化センターで試料の採取を公開(午前9時開始)

※ 新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用をお願いします。

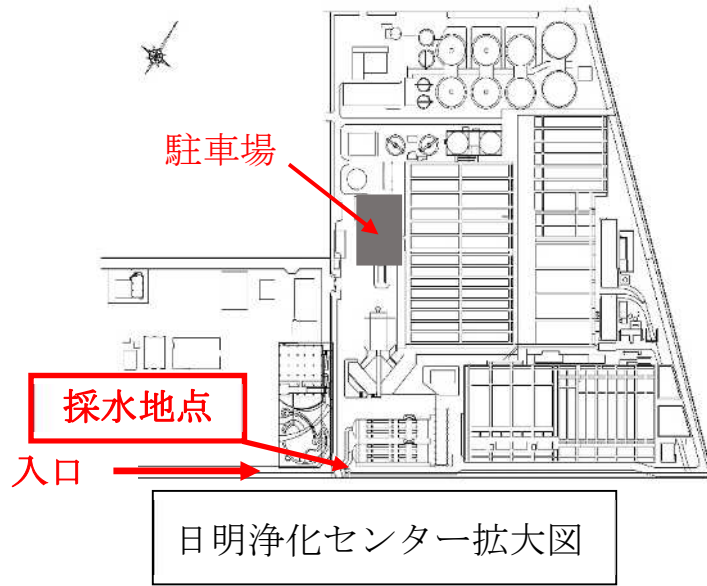
※ 撮影は、流入水の採水を予定しております。

【担当】

上下水道局水質管理課

課長：佐藤、係長：徳原

TEL：582-2570



日明浄化センター
 小倉北区西港町96番地の3
 電話 581-5661